



Wi2、バッファローと Wi-Fi サービスで協業 ～「Wi2 300」利用エリアが日本最大の全国約 13,000 ヶ所へ拡大～

2010 年 6 月 25 日

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス（本社：東京都港区、代表取締役社長：高津智仁、以下 Wi2）は、国内最大級の Wi-Fi スポットサービス「FREESPOT」を推進し、FREESPOT 協議会の主幹事である株式会社バッファロー（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：斉木邦明、以下バッファロー）と、Wi-Fi サービスの協業について業務提携をいたしました。

本業務提携は、両社が共同で FREESPOT の Wi-Fi 環境の充実を図るとともに、FREESPOT における Wi2 の Wi-Fi サービスの提供を行い、さらなる Wi-Fi サービスの利用拡大、及び活性化を目指すものです。

本業務提携により、約 5,000 ヶ所の FREESPOT を、FREESPOT の ESSID（*1）に加えて Wi2 用の ESSID を付与した Wi-Fi アクセスポイントにバッファローが置換え、9 月より Wi2 のサービスエリアに追加されます。これにより Wi2 の Wi-Fi サービス「Wi2 300」（*2）のユーザーは FREESPOT の約 5,000 ヶ所のエリアで「Wi2 300」と同様にセキュアな Wi-Fi アクセス（*3）が利用できるようになります。また、今月バージョンアップした自動ログインツール「Wi2 Connect」で自動ログインをすることも可能です。FREESPOT ユーザーは従来通り FREESPOT Wi-Fi サービスを利用できます。

Wi-Fi は、iPhone™3G をはじめとするスマートフォンや Wi-Fi を搭載する携帯電話の拡大、及びネットブックやスレート PC の普及等により、ニーズは急拡大しています。Wi2 は、多様なパートナーと連携し、幅広いユーザー層があらゆる Wi-Fi 搭載デバイスで Wi-Fi サービスを利用可能な環境を展開していきます。このたびのバッファローとの提携はその一環であり、今後も Wi2 の Wi-Fi サービス「Wi2 300」ユーザー獲得を進めるとともに、Wi-Fi サービス事業者との連携により市場拡大に取り組んでまいります。

*1 ESSID

「SSID」「ネットワークネーム」とも呼ばれますが、「Extended Service Set ID」の略で、無線 LAN 接続時に特定のネットワークを指定する識別名です。

*2 Wi2 300

「Wi2 300」は、Wi2 が提供する無線ブロードバンド・インターネット接続サービスです。ノート PC、iPhone™3G などの Wi-Fi（無線 LAN）対応デバイスで簡単接続が可能です。丸の内エリア（丸ビル、新丸ビル、丸の内オアゾの 3 ビル）、横浜ベイエリア、成田空港路線、羽田空港路線のリムジンバスなどの自社エリアに加え、ローミングエリア（BB モバイルポイント、ライブドア・ワイヤレス）など全国約 7,600 か所以上の Wi-Fi スポットで提供しており、今回のバッファローとの業務提携により利用エリアは約 13,000 ヶ所に拡大します。 サービス詳細は <http://300.wi2.co.jp/> をご覧下さい。

*3 セキュアな Wi-Fi アクセス

Wi2 の契約者は、ID・パスワードでの認証を行います。なお、配布予定の Wi-Fi アクセスポイントは、下記のセキュリティ機能を具備しています。

- ・プライバシーセパレータ機能（同じアクセスポイントに接続された端末間の通信を禁止する機能）
- ・オーナー機器と FREESPOT 利用者機器の通信を遮断するセパレート機能